

地域若者サポートステーションはままつが動画になりました！



youtube サポステはままつ

検索



静岡労働局によりサポステはままつの紹介動画が作成されましたので、ご覧ください。

支援対象者が広がっています

サポステはままつは「働きたいけど不安がある」「どうすればいいのかわからない」等の働くことに悩みや不安を感じている方の就労支援機関です。15歳から39歳までの若者の就労支援の他に、今年度（令和2年4月）から就職氷河期世代の支援（サポステプラス）が拡充され、40代の支援も行うようになりました。ぜひご活用ください。（※転職活動の支援は行えません。現在無業の方が対象です。）

サポステはままつ TEL 053-453-8744

ご利用ください E-JAN の蔵書本

貸し出します。お気軽にご利用ください。

～ 最近購入した本 ～

- ・1日誰とも話さなくても大丈夫
- ・空気が読めなくてもそれでいい
- ・ただ、そこにいる人たち
- ・こころの元気 plus（定期購読）

購入リクエスト、待っています。

E-JAN 事務局 (TEL 053-461-6045)



【サポステはままつから】氷河期世代の支援事例の紹介です。

令和2年4月から「働きたい40代・就職氷河期世代」の支援が始まり、少しずつですが氷河期世代の方も相談に来てくれるようになりました。今回は事例を紹介したいと思います。

46歳 男性

大学中退後、自動車関連会社で期間従業員や派遣社員として就労してきましたが、令和2年4月にコロナの影響で生産が減産し仕事がなくなり退職。一人暮らしのため令和2年7月から生活保護を受け、10月からサポステにて就職活動を開始。

工場での交替制のオペレーター業務に長く携わってきたので、同じ工場系での仕事を希望していました。派遣労働は派遣登録することで気軽に働く場所を確保できる反面、景気や企業の業績の影響を受けやすく慣れた職場からの異動や、仕事が減ることでの待機（無賃金）、時間給のため休日が多い月（夏休み・GW・冬休み）は収入が安定しないことが多く、また派遣登録できても年齢や健康状態で紹介してもらえない状況にあり、第一に正社員での就労を希望していました。

初回面談では、本人の気持ちに寄り添いながら現状を詳しくお聞きし、大まかな就労活動の流れと、相談にあたっては常にご本人の気持ちを確認しながら丁寧に進めていくことを伝えました。ご本人の「早く生活保護を抜けて普通に暮らしたい」という希望をもとに、今後の方向性について相談を重ねていきました。ご本人は「本当に正社員になれるのか」「今まで派遣登録すれば仕事を紹介してもらえたが、実際に仕事を探すにはどうしたらいいのか」など不安を抱えていました。

応募書類の作成で「パソコンが使えない。持っていない」とのことでしたので、サポステのパソコンを使い、一緒に志望動機などを考えながら作成しました。応募に関してはハローワーク求人だけでなく、静岡ジョブステーションとも連携し、職場開拓員の方に本人の経歴や人柄を伝えてもらいながら、地元企業中心に求人開拓をしていただきました。何社かハローワーク求人から応募をしましたが、不採用が続き不安な日々が続きました。それでも面談を重ねることでモチベーションを維持し、諦めずに応募を続けていくと8社目に初めての内定をいただくことができました。同時期に職場開拓員の方から、より本人の希望条件に合う企業の紹介があり、見学をさせていただきました。本人はその企業がとても気に入りすぐに応募したところ、本人の人柄とやる気を評価していただき正社員としての採用に至りました。何度も躓き諦めそうになりましたが、継続したことで、より希望条件の合う会社で1月中旬から働くことができました。その後も定期的に電話やメール等で元気に働いている状況を確認しています。

～今年度からの新入職員の紹介～

辰野あや花です。

まだまだ経験は浅いですが、検査やカウンセリングなどで利用者さんをサポートできればと思っています。今年度から初めて一人暮らしをしています。一人暮らしを始めた途端に自粛生活が始まったので、料理をするようになりました。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

関井清華です。

平成24年12月から勤務させていただいて以来、SSTのグループを担当し、基本的なコミュニケーションの練習を行ってきました。今年度は個人面談を担当しています。よろしくお願いします。

和久田ゆかりです。

50歳半ば過ぎでこの業界に入りました。歳は多いのですが、ピョピョです。わからない事が多く皆様にご迷惑をおかけしますが、宜しくご指導の程お願い致します。

西岡 孝浩です。

令和2年11月から勤務させていただいています。心理検査や個人面談などを担当しています。経験豊かな花の60代です。よろしくお願いします。



たけのこくらぶ

たけのこくらぶ主催 令和2年度第2回 E-JAN 茶話会 10月4日(日) 曳馬協働センター



イラスト: 会員さん

今年度はコロナのこともあり、協働センターの部屋を2部屋借りて密にならないように感染対策して行っています。

今回はフリートークの部屋と、テーマ「夢中になれること何ですか」というテーマありの部屋と分かれて行いました。

20名参加でほとんどの方がフリートークを希望でしたが、調整して半々に分かれて行いました。

わたしは、人数調整のためテーマありの「夢中になれることは何ですか」に参加。みなさんのお話がとても興味深かったです。

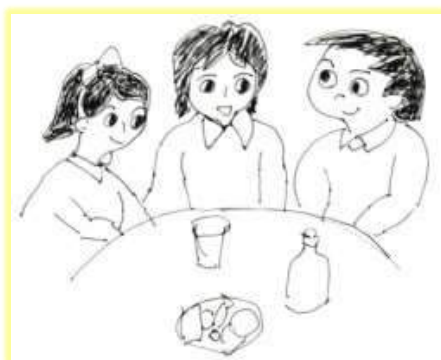
それぞれ夢中になるものは違うし、なかなか見つからなくて探してる人、これからこんなことしたいなど、夢がある話は、自然と笑顔になりますね。

薬を飲んでる方は、昔ほど夢中になれないけど薬で抑えられた状態が安定した生活を送れると言っていました。

ハイになりすぎず落ち込み過ぎずですね。

コロナ禍で、皮肉にも家に居る時間が増えているこの頃、以前より自分の時間が持てるようになりましたので、何か始めようかと考え中です。そんな考える時間も大切だと感じます。

(高橋)



フリートークの部屋でも、とりあえず「夢中になれることがありますか」から話がスタートしました。

音楽を聞くことが好きという人が多くいました。落ち込んだときに元気がもらえるから。でも以前と好きなジャンルが変わってきた。「翼をください」とか合唱曲もいいね。浜松市歌もいいよというので、スマホでみんなで聞きました。浜松のよいところが詩と曲で表現されているね。最近聞かなくなったけれど、童謡や唱歌も詩が素晴らしくて感動するねと。

旅が好きという人は、北海道から九州まで車でいろいろな所へ行って仕事もした。どこも素晴らしいけれど、今は家族という浜松が一番好きと言っていました。

後半は家族に関する話で盛り上がりました。「体調が悪いとき、何もしないと妹に責められるのがつらい」どうしたらうまくやっていけるのか教えてほしいとの発言に、妹さんも仕事で疲れていて思いやる余裕がないのではないかと、仲の良い家族ばかりではないよとの声がありました。

兄弟以外にも夫や父親への不満も出て、ここで日ごろの不満を吐き出せた方は少しすっきりして帰られたと思います。

結論はなくても、本音で語り合えたことがよかった茶話会でした。(平野)



日常の楽しみは、“深夜ラジオ”。好きな芸人さんのラジオを聴いている時は、ただただ笑えてきちゃいます。ドライブのお供にも最適です(^)/(大畑)



家でのおんぼりゴロゴロしている猫たちを眺めるのが毎日の楽しみです(桜井)



どんな世の中も清水エスパルスが元気に前向きにられる存在です!! 今年例年になく大補強をしたエスパルス⚽ きっとたくさんの勝利を私に届けてくれることでしょう!!(兼田)

家にいる時間が増え、お花を育てたり、野菜を育てたりしています。ベランダに放置してあった鉢から数年ぶりにお花がきれいに咲きました。(鈴木)

40年前以上のホンダダックス ST70 です。昔のF1ロータスをイメージしています。現在、冬眠中です(笑)(神谷)



ストレスフルなコロナ禍では、サッカーをしたり走り回ったり踊ったり…。今はリフティングの練習をしています！人生初の試み、なかなか難しいですが頑張っています。(関井)



宮部みゆきと堂場瞬一の沼にはまっています。古本ばかり買っていたら、老齢年金もらっているんだから「定価で買ったら」と娘に言われました。(大谷)



コロナ禍でうち時間が増え、昨年5月ごろは映画三昧でしたが、2時間が長く感じられ、最近はYouTubeの動画にはまっています。テレビの画面を見ながら体を動かす日々、少しずつ成果が表れ、モチベーションアップにつながっています。オススメありましたら教えてください(^)/(高橋)



～人生を楽しもう～ コロナ禍でも こんな楽しみがあります！

最近昔引いたことのあるギターを触ってみました。コードなどすっかり忘れていて、忘れる能力の優秀さに驚きました。昔の曲は思い出せないので最新の曲に挑戦しようと思っています。(西岡)



自分で食べる野菜は自分で作る！を目標に家庭菜園を娘とやっています。春も近づいて、自分の庭のお花でフラワーアレンジを楽しめるようにお花をたくさん増やしています。コロナ禍の中、野菜や植物に癒される毎日です。(和久田)



夫婦共々、調理もお酒も好きなので、家で居酒屋や洋食屋、中華屋を開いています。子どもが店員さんとしてバイトして、コツコツお小遣いを貯めている様子を見るのはほっこりします。(加藤)

コロナ禍では、作ったことのない料理に挑戦してレパートリーを増やして楽しんでいました。(辰野)

ステイホームで活躍中のご飯鍋です。我が家では数年前からご飯をお鍋で炊いていましたが、年末にこの鍋を購入して大満足！ご飯はもちろん、おでんやシチュー、豚の角煮等、時間がかかる料理がとても美味しく出来ますよ。(新田)

旬を楽しむ。今は夜な夜な柑橘系を剥いています。(田邊)



自慢の愛車(N-MAX)でソロツーリングを楽しんでいます。バイクは密と関係ないのでコロナ禍の中でも自由に走れるけど、この時期は寒くて…。早く暖くなるのを首を長くして待ってます！(佐藤)



趣味のひとつ「スーパー銭湯(♨)」。炭酸泉風呂はお勧めです！心身に良い様々な効果があり、治療にも活用されているようです。ひとりで、のんびりと何も考えずボーっと湯につかる時間は、もう最高です！！銭湯によってお風呂の種類も違うので、昔はよく銭湯回りをしたものです。お勧めの銭湯があったらぜひ教えてください。(野村)

なか 浜松市中障がい者相談支援センターより



E-JAN通信52号では、障がい者相談支援事業所（通称：委託相談）が再編成されたことを紹介させていただきました。当法人E-JANは「浜松市中障がい者相談支援センター」の一員となっています。

浜松市中障がい者相談支援センターは、社会福祉法人聖隷福祉事業団、社会福祉法人小羊学園、NPO法人E-JANで構成され、7人の相談員で中エリアにお住まいの方の相談に対応しています。

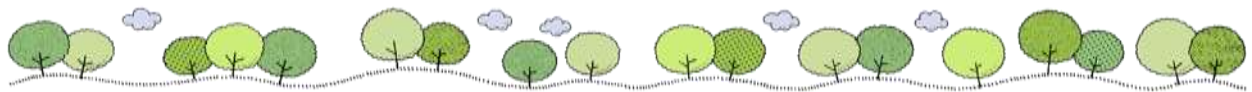
毎月平均50名の方から新規での相談があり、ご本人、ご家族、関係機関と連携してご本人が安心して生活ができるように支援を行っています。

センターには様々な相談が入ってきますが、地域の課題として、浜松市にお住まいの外国籍の方で、障がいがあるお子さんやその家族への支援について、言語の壁や文化の違いなどから、適切な支援に結びつかないこと、コミュニケーションがスムーズにいかないこと等があったため、今年度は外国籍の障がいがある方でも安心して生活できるようなネットワーク作りのための会議も行いました。

個別の相談はエリア毎になりますが、浜松市全体が住みよい街になるよう、当事者だけではなく、関係者、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

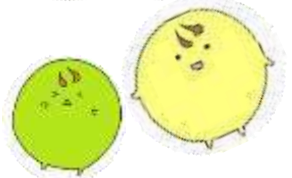
こんな相談できるかな？もっと知りたい！ などありましたら、ご連絡ください。

浜松市中障がい者相談支援センター TEL 053-488-8078



ひきこもりサポートセンターこだま

ひきこもり地域支援センター啓発講演会



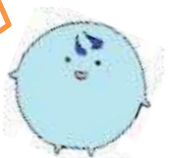
ひきこもり地域支援センターでは、毎年市民の皆様へ向けて、ひきこもりの理解・啓発のための講演会を実施しています。今年度は令和3年3月11日（木）に開催しました。

昨年度は新型コロナの影響で中止となりましたが、この一年でリモートワークも浸透し、自宅から会議や研修に参加することが当たり前の中になりました。啓発講演会もその波に乗り、今回初めて「Zoom」を使用した講演会を実施しました。当日は90名の方（Zoom76名、映写会場14名）にご参加いただきました。

今回の講演会のメインは、ひきこもり経験者の体験発表でした。経験者の発表は、様々な場面でその時どんな思いを抱き、どんな心境だったのかというリアルな思いを聞くことができ、講演会のタイトル通り「ひきこもるその心を理解する」にふさわしい発表になりました。

～参加者の感想～

- ・安心感がとても重要であると感じました。
- ・生きてみようと思える縁や出会いが大切という言葉に感銘を受けました。
- ・家族も当事者と向き合わない時間を作ること、当事者以外の大切な人やものを持つことが大切という言葉に安心しました。



浜松子ども支援 NET への参画（ご報告）



現代の日本は、高度経済成長により急激な経済の発展を経て、暮らしが豊かになっていった一方で、社会構造や価値観の変化も伴いました。具体的には家族の構造、働き方、地域の繋がり、人との繋がりの変化などです。それらが影響したのかははっきりとした確証はありませんが、支援の現場の感覚から言えば、社会全体が不安定となったことと、地域や人との繋がりが弱まってきたことにより、人が安心して育つ環境が変化し、その結果、虐待、不登校、ひきこもりなど、様々な社会的課題が見られるようになってきたと感じています。

そうした状況の中、E-JAN では2009年からひきこもり相談支援事業を始め、2011年には地域若者サポートステーション事業を開始し、それらの事業を通して若者の社会参加や就労支援という切り口で地域の精神保健対策に取り組んできました。ただ、実際に E-JAN がこれらの事業で担っていることの殆どは、既に課題化されている問題に対応するというものです。それはそれで重要なのですが、やはり予防的視点で子どもの頃からの育ちへも関りを広げないと、ひきこもりや、若者の生きづらさといった課題は今後も続いていくものと思われます。

浜松市内では、子育て、子ども福祉、教育などに関する活動が様々な団体で行われています。しかし、それは独自の活動であることも多く、まだネットワーク性が持っていない現状があります。それぞれが課題を感じながらも共有する場がなかったり、対応に困った時や、子どもが次のステージに進むときに、支援が途切れてしまったり、支援が受けにくい状況になることが課題となります。



そこで、子どもや親への支援に取り組んでいる団体が「浜松子ども支援 NET」を立ち上げました。E-JAN は子どもから若者にかけての支援のネットワークの強化、支援を繋ぐ場、若者支援から見える様々な課題などを提起する場としてここに関わることに大きな意義があると考え、この会に参画することになりました。今後、様々な情報の発信やネットワークづくりに取り組んでいく予定です。それらの情報は E-JAN のホームページ上でも発信していきます。

関係団体 ●アクティブ

発達障がいや軽度知的障がいをもつ保護者と支援者の会

●公益社団法人 子どもの発達科学研究所

科学的根拠に基づく子育て、教育の普及啓発

●NPO 法人しずおか・子ども家庭プラットフォーム

社会的養護への支援、児童家庭支援センター、発達相談支援センタールピロの運営

●NPO 法人はままつ子どものこころを支える会(すまいる)

不登校児童生徒が利用する市内校外適応指導教室の運営

●一般社団法人ここみ

産前から産後、子育ての支援、安心して地域で子育てができる地域の実現を目指す会

座談会動画「浜松の子どもの発達を支える」

第1回 <https://www.youtube.com/watch?v=gItb-0X6dk4>

第2回 <https://www.youtube.com/watch?v=KdYIzSzgRQo>





E-JAN 4月～7月の予定



月	日	内 容	時 間	場 所
4月	11日(日)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
5月	11日(火)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
6月	5日(土)	総 会	10:30～ 11:30	Zoom 開催
	11日(金)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
7月	11日(日)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店

・茶話会やお楽しみサロンの実施については決定次第 E-JAN ホームページでお知らせします。



事務局より



● ご寄附をくださったみなさまへ

ご寄附をくださったみなさまのお気持ちに感謝して、通常総会資料にお名前を掲載させていただきたいと思っております。令和2年4月1日から令和3年3月31日発行の「寄附金受領証明書」の寄附金欄に記載のある方と品物でご寄附下さった方です。匿名を希望される方は、恐れ入りますが4月16日(金)までに事務局へご連絡ください。



● 役員改選

令和3年は役員改選の年にあたります。正会員の中から令和3～4年度の役員を選出します。役員は、立候補または推薦により候補者を立て、総会にて選任されます。会員のみなさまには関係書類を同封しますので、立候補または推薦をお願いします。

～編集後記～

- ・月に数回のリモート会議、研修会もほとんどがオンライン、居ながらにして出来るのは楽ですがそろそろ集まってワイワイやりたいですね。(高橋)
- ・こだまとサポステの近くのアクト通りで、東日本大震災復興支援「3.11復光キャンドルナイト」が行われていました。これまでの10年に思いをはせるとともに、これからの災害にも備えていきたいと思いました。(杉浦)
- ・令和3年度中に65歳になるので、E-JAN 事務局のお仕事から引退を考えています。代わっていただけそうな方、みなさんの周りにいらっしゃいませんか。(大谷)
- ・12月末からプライベートで色々あり、慌ただしい日々のなか、業務の合間を見て様々な手続きをしていました。行政で行う手続きがネット上で24時間できたら楽になるのになあ…などと思いました。(佐藤)